

踏切の安全対策について

検知能力の高い障害物検知装置の実証試験を実施いたします

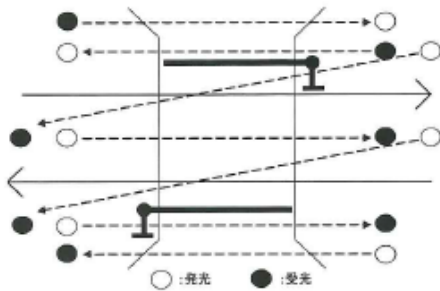
西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：若林久）は、踏切の安全対策として、大同信号株式会社（本社：東京都港区 社長：今井徹）が開発を進めている検知能力の高い障害物検知装置を、以下のとおり補助設備として使用して事故防止を図る実証試験を実施します。

期間終了後は成果を分析して 2019 年度以降の本導入を目指します。

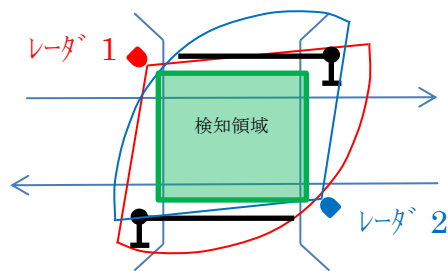
詳細は、以下のとおりです。

【実証試験概要】

1. 試験期間 2017 年 6 月 12 日(月)から一年間
2. 設置箇所 池袋第 8 号踏切（所在：東京都豊島区目白 5-30）
3. 内 容
(1)既設の踏切支障検知装置に加え、補助設備として面で障害物を検知する障害物検知装置を設置いたします。

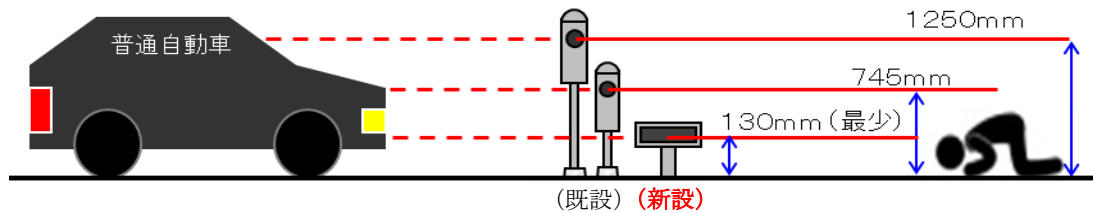


既 設
(線で障害物を検知)



新 設
(面で障害物を検知)

- (2)踏切道の低層部に設置することにより、自動車に加えて低い位置の障害物を検知することが可能になります。但し小動物等による過剰検知の可能性が高まるため、影響について検証します。



本設備は、踏切道上の多くの物体（歩行者、自転車など）に対して、検知できる可能性を高めることができますが、100%保証するものではありません。今後も、踏切道上で危険な状況を発見した場合は非常用ボタンを押していただき、踏切内に入らないようにお願いします。

■お客さまからのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL. (04) 2996-2888

音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。

[営業時間：平日 9 時～19 時 土休日 9 時～17 時]

以 上